

令和3年度 市長と語る会

全日本年金者組合瑞浪支部
新日本婦人の会瑞浪支部

開催日時 令和4年1月25日 10:30～12:00

開催場所 総合文化センター 視聴覚室

瑞浪市企画政策課

タイトル	年金者組合①	
ご意見の内容		
<p>(ア) 多くの市民が慣れ親しんだ東濃厚生病院がなくなる事には反対です。医療、福祉の市政はどんな施策を実施しますか。</p> <p>(イ) 新病院に関して、何年間かに渡り、年間2億円程度の一般会計での負担が必要という話を聞いています。費用負担はどのようですか。</p> <p>(ウ) 建設予定地の地質調査を行うと聞きましたが、その結果についてはどこへ報告されますか。地盤について、適地であるという判定はどこで行いますか。</p> <p>(エ) 新病院の病床数400床の根拠について説明していただきたいです。</p>		
市長の回答	担当課	健康づくり課
<p>(ア) 高齢化に伴う人口の減少や医師の確保が困難な状況が続くこと（特に東濃厚生病院・土岐市立総合病院規模の病院では、専門医、高度医療のための医師の確保が困難）などの事由により、現状のままの形では、ともに経営が立ち行かなくなり、両市から総合病院が無くなる懸念されます。東濃厚生病院と土岐市立総合病院の一病院化は、地域の医療資源を集約し、より高度な医療サービスの提供と、将来に亘る地域医療の確保を目指すものです。</p> <p>市の医療・福祉施策については、第6次瑞浪市総合計画後期基本計画の基本方針「健康福祉」において、(1) 地域福祉・社会保障、(2) 健康・医療、(3) 子育て支援、(4) 障がい者福祉、(5) 高齢者福祉・介護と5つの項目に分け実施する施策を示しております。</p> <p>(イ) 年間2億円の話は、承知しておりません。JA岐阜厚生連と国と土岐市と瑞浪市で負担します。建設費を仮に200億円とすると、市の負担は10億円程度と考えています。現在、東濃厚生病院に年間6000万円を補助していますが、これを大幅に上回ることはないと考えています。管理運営費は、国からの交付金の範囲で支援していく予定です。</p> <p>(ウ) 地質調査は、東濃中部病院事務組合の委託事業として行われています。その結果は、組合議会に報告され、ホームページ等で公表されると思います。</p> <p>(エ) 東濃厚生病院と土岐市立総合病院の現状や今後の人口減少の推移を踏まえて、400床を目標に計画しています。具体的には、今後の策定委員会にて検討されていきます。</p>		

タイトル	年金者組合②	
ご意見の内容		
<p>75歳以上の医療費窓口負担を、2022年10月より2割に引き上げることが計画されていますが、私たちは反対です。年収200万円以上とすると370万人の高齢者の医療費は2倍になります。診療抑制が起これり重篤な病気が手遅れになることが想定されます。前安倍政権の8年間に、年金は6.4%も減額されています。高齢者の苦しい生活実態から目をそらさないで、当事者の声に耳を傾けてください。政府・関係機関に2割への引き上げはやめて、1割負担に据え置くよう働き掛けてください。なお昨年9月瑞浪市議会にて請願が可決され国への意見書が出されました。</p>		
市長の回答	担当課	保険年金課
<p>岐阜県後期高齢者医療広域連合協議会の議員として私も参加しております。後期高齢者医療広域連合協議会からも、これまでに厚生労働大臣に対して、75歳以上の医療費窓口負担については慎重かつ十分な議論を強く要望をしてきましたが、窓口負担割合を2割に引き上げる医療制度改革関連法（全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律）が昨年6月に成立いたしました。</p> <p>後期高齢者医療制度が持続可能で安定した運営体制を確立できるよう、運営主体の岐阜県後期高齢者医療広域連合と連携していくとともに、国に対し、窓口負担の見直しによる影響の検証と、高齢者が必要な医療を受ける機会が確保されるよう、今後も求めていきたいと思っております。</p>		

タイトル	年金者組合③		
ご意見の内容			
<p>高齢に伴い難聴になる人が多くいます。難聴が生活様式を変え、家に籠るなどの変化となつて、性格まで変わってしまったようだと言われ、家族が心配する例もあるようです。補聴器をつけることで少しでも老後の暮らしが楽しく送られることを誰もが願います。補聴器は大変高額なので、補聴器購入の助成・補助制度を設けていただけませんか。県下では飛騨市が購入額の2分の1の補助（限度額4万円）を実施されています。飛騨市への問い合わせを行い、当市でも実施できるようにしていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課 社会福祉課	
<p>難聴高齢者への補聴器購入に対する助成制度は現在のところ創設の予定はありませんが、ニーズ調査や他市の状況の把握を通じて、今後の検討をしていきます。</p> <p>他の助成制度としましては、老人性難聴であっても障害者手帳の交付を受けた場合は、補聴器購入費用の全部又は一部が支給されます。詳しくは社会福祉課までお問合せください。</p>			

タイトル	年金者組合④	
ご意見の内容		
<p>全額国庫負担による「最低保障年金」を早急に実現すること。当面、基礎年金の国庫負担分3.3万円をすべての高齢者に支給することを関係機関に働きかけてください。なお、瑞浪市における無年金者の実態を教えてください。</p>		
市長の回答	担当課	保険年金課
<p>令和3年度における老齢基礎年金額は、満額で年間780,900円、月額65,075円であり、基礎年金給付のみの生活は大変厳しいものと認識しております。</p> <p>こうした中で、「最低保障年金」については、旧民主党政権時や自民党総裁選時などにも提唱されていましたが、「最低保障年金」の財源全てを国庫負担つまり税金とする場合、その財源をどう確保するのか課題となります。同様に、基礎年金の国庫負担分3.3万円の全額支給も財源の確保が必要です。</p> <p>消費税などの税負担増加など国民の理解を得ながら、慎重かつ丁寧な議論が必要であり、持続可能で安心できる年金制度の構築について、国の動向を注視していきたいと思っております。</p> <p>市では年金支払い業務を行っていないため、無年金者数についての把握はできません。</p>		

タイトル	年金者組合⑤	
ご意見の内容		
<p>年金引き下げの仕組みである「マクロ経済スライド」を廃止するよう関係機関に働きかけてください。</p>		
市長の回答	担当課	保険年金課
<p>年金制度は、若い世代が高齢者を支える形で維持されていますが、高齢化により年金給付費が増加し、年金給付を負担する若い世代は少子化で減少し、その構図は厳しいものとなっています。年金給付の財源の半分である年金保険料は上昇し若い世代の負担が増えています。</p> <p>このため、年金制度の長期的・安定的運営のため、「年金給付の支出」と「保険料の収入」の均衡が保たれるよう、賃金・物価の上昇に対し年金給付水準を調整（抑制）する「マクロ経済スライド」が平成16年の年金制度改正で導入されました。</p> <p>しかしながら、高齢者の方にとって年金額の抑制が生活に与える影響が非常に大きいのも事実です。</p> <p>年金で生活する高齢者の方と、その財源を支える若い世代の負担とのバランスを考慮し、持続可能で安心できる年金制度の構築について関係機関と連携していきたいと考えています。</p>		

タイトル	年金者組合⑥		
ご意見の内容			
<p>独居老人に対する配食サービスが週1回行われていますが、県下の実態を参考に改善をしてください。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>サービス利用者等からの要望及び近隣市との均衡を図るため、令和4年度より利用可能回数を週2回に増やす予定です。</p> <p>今後も栄養補給と安否確認を兼ねた配食サービスを通じ、利用者の在宅生活の支援に努めてまいります。</p>			

タイトル	年金者組合⑦		
ご意見の内容			
<p>高齢者の外出支援や買い物支援について、他市においては巡回バスの割引等が実施されているが当市では？デマンドタクシーが実施されていますが、利用状況は？課題は？</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>瑞浪市コミュニティバスは、高齢者のみを対象とする割引制度は実施しておりません。</p> <p>また、デマンド交通の利用状況について、令和3年度は11月末時点で、日吉～明世ルートは利用者数476人で稼働率32.1%、大湫～日吉東部ルートは利用者数281人で稼働率20.4%、釜戸ルートは利用者数649人で稼働率35.9%です。新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が減少しており、新規を含めた利用者の増加及び稼働率の向上が課題となっております。</p> <p>※瑞浪市のデマンドタクシーの料金・・・500円 障がい者手帳をお持ちの方の料金・・・250円</p>			

タイトル	年金者組合⑧		
ご意見の内容			
<p>寝たきりや認知症の方へのおむつ等の支給について対象を拡大することはできないか。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>要介護４以上の認定を受けた方を在宅で介護している非課税世帯の方に対して、市内の薬局等で紙おむつ等を購入できるクーポン券を支給しています。</p> <p>要介護４は座位保持の能力が低下し寝たきりとなる方が多く、紙おむつを利用する方も多くなることから、現段階においては要介護４以上の方を在宅介護している介護者の方への精神的、経済的支援として本事業を実施しています。事業対象者の拡大については、他の制度や近隣市の状況をみながら今後検討していきます。</p>			

タイトル	年金者組合⑨	
ご意見の内容		
<p>不燃ごみに出されたものでもまだまだ十分使えるような物があります。これらをなんとかリサイクルで活用するようにしてほしい。</p> <p>他所の例では、集積センターが町中にあり、家庭で不要になった物を持ち込めるようになっていて、また使用したいと思う人が安く買い取るようなシステムになっています。</p> <p>不燃ごみの減量とリサイクルにより、環境にも優しい対策にもなります。</p>		
市長の回答	担当課	環境課
<p>環境問題は、世界的な取り組みでもあるので、瑞浪市でも取り組んでいく必要があります。再利用できる物は再利用するという取り組みは必要だと考えております。</p> <p>現状を確認して、全ての不要品という訳にはいきませんが、再利用できるようなシステムを作らなければならないと思います。市で集めたものを判別して、まだ使える物をリサイクル・リユースするかを一度考えてみたいと思います。</p> <p>陶磁器メーカーの行っている原料化は、先進的であり、素晴らしい取り組みですが、大変なコストがかかるため、再利用することが必要ではないかと検討されています。</p>		

タイトル	新婦人①	
ご意見の内容		
<p>瑞浪市の医療を守ってください。</p> <p>(ア) 東濃厚生病院の統廃合は市民の意見を聞かずに決められました。</p> <p>(イ) 瑞浪市民の命と暮らしを守る東濃厚生病院を総合病院として存続してください。このままでは、病院に行けない人が多く出てきてしまいます。</p> <p>(ウ) どんなデメリットがありますか。</p>		
市長の回答	担当課	健康づくり課
<p>(ア・イ)</p> <p>一病院化の議論について、平成29年度から始まった東濃中部の医療提供体制検討会の資料及び議事概要は、第1回より両市ホームページに掲載しており、令和元年度以降の医療提供体制検討会や医療提供体制審議会では、一般の方の傍聴や市民からの意見の募集、東濃中部病院事務組合格約(案)に対するパブリックコメントなど、様々な方法で意見をお聞きしました。また、市民説明会、地域懇談会(市長と語る会)などで経緯を説明し、ホームページ、広報などにより周知を行ってまいりました。さらに、市議会においても一般質問がなされ、一病院化の経緯をご説明させていただいております。</p> <p>新病院の建設につきましては、令和3年第1回瑞浪市議会定例会において東濃中部病院事務組合の設置が可決され、6月には事務組合が設立し、建設整備に関する事務が進められております。</p> <p>東濃厚生病院はJA岐阜厚生連の財産、運営であります。市としましては、東濃厚生病院の後利用として一次医療機能(クリニック機能)の継続及び、福祉・介護施設等としての活用を強く要望しているところです。</p> <p>(ウ) 現状のままでは、土岐市、瑞浪市の両市から二次病院(総合病院)がなくなってしまう懸念があります。そのことが一番のデメリットであると考えております。</p>		

タイトル	新婦人②	
ご意見の内容		
<p>ジェンダー平等と貧困対策の両方の視点から生理用品を必要な人に無償配布してください。</p> <p>(ア) 小中学校の個室トイレに必要時気兼ねなく自由に使えるよう生理用品を設置してください。現在、保健室に常備していただいておりますが、急に生理を迎えてしまったときなどに、気兼ねなく使えるようにしていただきたいです。</p> <p>(イ) 生活困窮者がいつでも生理用品を受け取れるような窓口を設置してください。</p> <p>岐阜県において実施されているサポート事業が延長されると聞きましたが、期間はいつまで延長されたのでしょうか。</p>		
市長の回答	担当課	(ア) 学校教育課 (イ) 社会福祉課
<p>(ア) 小学生の生理については、一人で抱え込まないで学校に相談することにより、適切な支援につなぐことができると考えております。市としましては、初めて生理を迎えた生徒さんには、先生に頼っていただき、先生に指導していただくことが大切ではないかと考えております。そのため、保健室でプライバシーに配慮しながら渡していくようにしています。</p> <p>(イ) 生理の貧困による生理用品の配布につきましては、多くの自治体において主に防災備蓄品を活用した無料配布が実施されましたが、本市においては、生理用品の防災備蓄がされていなかったため、生活安全課、社会福祉課、社会福祉協議会の協力で、防災備蓄品を活用した困窮者への備蓄食料、飲料水の配布を行いました。また、現在は生理用品を防災備蓄に追加しております。</p> <p>ご意見いただきました、困窮者がいつでも生理用品を受け取れる窓口の設置については、現在考えておりません。なお、岐阜県において、国の地域女性活躍推進交付金を活用した女性のつながりサポート事業が現在実施されており、この中で、経済的困難や様々な不安を抱える女性への訪問支援や居場所提供と合わせて生理用品の配布も行っております。瑞浪市の方も利用が可能ですので、是非お困りの方がみえましたら周知をお願いします。現行のサポート事業は令和4年3月までです。県では令和4年度においても同様の事業を行うとのことですが、詳細については不明です。</p>		

タイトル	新婦人③		
ご意見の内容			
<p>義務教育は憲法に無償と定められています。</p> <p>(ア) 就学援助制度の支給基準を所得基準だけにし、利用しやすくしてください。(瑞浪市の利用率は県下最低)</p> <p>(イ) 学校給食費を無償化してください。岐阜県内の市町村には、学校給食費を無償化しているところはいくつかあります。また、下呂市においては、中学生の給食費を半額助成しています。県内生産食材には県の補助金が出る制度を活用してください。</p>			
市長の回答	担当課	学校教育課	
<p>(ア) 瑞浪市は所得基準だけにした場合より、利用しやすい制度となっております。例えば、児童扶養手当の受給者は、所得基準関係なく対象となります。今後も更に利用しやすい制度となるよう検討してまいります。</p> <p>(イ) 学校給食法第11条第2項により、食材料費及び光熱水費は保護者の負担となっております。瑞浪市では光熱水費を市が負担し、保護者には食材料費のみを負担していただいています。主食費に関しては、瑞浪市では、市内在住の3～5歳児を対象に幼稚園、保育園、幼稚園の主食費を無償化しております。</p>			

タイトル	新婦人④	
ご意見の内容		
<p>小中学校の学級定員を減らし、教師を増やしてください。教師は雑務に追われ多忙で子ども一人ひとりと向き合う時間が足りません。</p>		
市長の回答	担当課	学校教育課
<p>学級の定員については、国は小学生の定員を令和3年度から5年かけて1学級の定員を40人から35人に減らすとしています。中学生については現在未定です。</p> <p>岐阜県は独自に令和3年度に小学4年生、令和4年度小学5年生と中学2年生、令和5年度に小学6年生と中学3年生を35人少人数学級にする方針です。</p> <p>また市単独で、各学校には加配教員、学業支援員、教育相談員、スクールサポートスタッフ等を配置し、一人ひとりの子どもに寄り添った支援・指導ができるよう努めています。</p>		

タイトル	新婦人⑤	
ご意見の内容		
<p>新婦人瑞浪班が計画する原爆パネル展を教育委員会が後援していただくようお願いします。</p>		
市長の回答	担当課	教育総務課
<p>「瑞浪市教育行事の後援及び賞状交付に関する要綱」に基づいて後援承認をしております。原爆パネル展を開催する14日前までに、後援承認申請書（様式第1号）と行事の概要を示す資料を添付し、教育委員会に提出してください。様式は、教育委員会に来ていただいでお渡りするか、ホームページからダウンロードできます。</p>		

タイトル	新婦人⑥	
ご意見の内容		
<p>瑞浪市居住の若者が、奨学金の返済、住居費等の支払いに困っています。若者への住居費支援を検討し、若者に住みやすいまちにしてください。</p> <p>社会福祉協議会での「生活福祉資金貸付制度の特例貸付」（無利子の貸付金）は、まだ継続していますか。また、現在の利用者は何人くらいいますか。</p>		
市長の回答	担当課	企画政策課
<p>現在、瑞浪市では人口減少対策として移住定住の施策を幅広く展開しています。新しく移り住んでいただける方への一定期間の支援はありますが、既に住んでいただいている方への支援は現在ありません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した方に、社会福祉協議会で貸付金を融資する制度を令和4年3月末日まで設けておりますので、ご利用いただけたらと思います。</p> <p>現在この制度を利用されている方は270名程度です。</p>		

タイトル	新婦人⑦		
ご意見の内容			
<p>新婦人瑞浪班は毎月フードバンク活動を行い10人ほどの方に食糧支援を行っています。フードバンク愛知、きなあた瑞浪、会員からの食料品の提供等で支援を行っていますが食料品確保が困難です。市の災害備蓄品等を活用していただくことはできないでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	生活安全課	
<p>本市では、大規模災害時に多数の避難者の発生が予想されることから、食料や飲料水及び生活必需品等を備蓄しています。食料や飲料水には、消費期限があるので、期限が近付いている備蓄食料については、普段から、防災意識の啓発のため、防災訓練の参加者に配付しています。</p> <p>また、今年度は、生活困窮者支援として、瑞浪市社会福祉協議会が取り扱う総合支援資金の特例貸付を利用している世帯の希望者に対し、400食余りのアルファ化米を提供しました。</p> <p>ご意見にある災害備蓄食料の活用については、状況に応じて検討させていただきますので、生活安全課までご相談ください。</p>			

タイトル	新婦人⑧	
ご意見の内容		
核兵器禁止条約への参加を再度国に求めてください。		
市長の回答	担当課	企画政策課
<p>国の安全保障に関する問題ですので、市としては政府の動向を注視したいと考えております。 (核廃絶というゴールは、世界人類が共有できる場所だと考えますが、現状のわが国が置かれている安全保障上の脅威に対しては、同盟国と共に適切に対応しながら核軍縮を前進させるのが現実的であると考えます。)</p>		